

1. 計画の背景と目的（はじめに）

旧高麗小学校は、施設一体型「義務教育学校」の開校に伴い、高麗中学校へ集約することで令和7年3月末をもって閉校となりました。

これを想定の上、日高市（以下「本市」という。）では、令和6年3月に『日高市学校跡地活用基本計画（旧武蔵台中学校、高根中学校、高麗小学校）』（以下「基本計画」という。）を策定しました。

この基本計画では、順次空き施設となる3校の学校跡地の有効活用を図ることを目的とし、上位計画等との整合性や行政需要への対応、市民の意向、民間事業者等による活用の可能性を踏まえ、学校跡地活用に向けた基本的な考え方を整理しています。

『日高市学校跡地個別活用計画（旧高麗小学校）』（以下「本計画」という。）は、基本計画に基づき、先行事例等の情報調査、住民及び民間事業者等のニーズの把握、行政需要の整理、活用手法の検討などを行い、旧高麗小学校の跡地活用を推進することを目的とします。

2. 個別活用計画の位置付け

